

## やさしいこだわり

小三

わたしは、だれにとってもすごしやすい家がすてきだと思っています。家は自分も、大切な家族も、長く生活する場所です。家族みんなが過ごしやすくするためにこだわることは、人のことを思いやるやさしさだと思います。

わたしの家のトイレは引き戸になっていきます。家をたてるとき、お父さんがこだわって引き戸にしたそうです。なぜかというとおし戸だと車いすの人がトイレを使うときにおし戸がじゃまになってしまうから

です。しかし、引き戸だと車いすに当たらずに入ることができます。おじいちゃんやおばあちゃんが車いす生活になっても、遊びに来やすいようにくふうしたそうです。わたしはお父さんにこのことを教えてもらって、とてもよく考えられているなと感じました。

わたしは他にもいろいろな場所で、だれかにとってすごしやすいこだわりのあるのかなと感じて、駅やスーパーのトイレをよく見てみました。たくさんの人が集まる場所には、いろいろな人が使いやすいバリアフリートイレがあることが多いです。バリアフリートイレには、いろいろななくふうがされています。たとえば、

車いすのままでも使いやすいうように  
広くなっていたり、助けをよぶため  
のボタンやひもがあったりします。  
こうしたくふうで、いろいろな人が  
使いやすいトイレになっています。

他にもいろいろな所にだれかのた  
めに考えられたこだわりがあると思  
います。そんなこだわりをさがして  
みたいのです。そして、わたしもだれ  
かにとってやさしい人でありたいと  
思いました。